

AI・データ活用入門

身近な課題解決とビジネス成長のヒント

上智大学は、大学の教育精神である”for Others, with Others”（他者のために、他者とともに）に基づき、研究活動の成果が社会および産業界の課題解決の糸口となり、引いては社会全体の利益に寄与することを目指しています。今回の技術懇親会がきっかけとなり、大学の研究成果について、産業界をはじめ、社会の皆様に広く理解いただき、皆様のビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

◆ 講演

（講演1）『描くAI、動かす現場：技術を味方にする時代へ』

講師： 吳 里奈 上智大学 理工学部 情報理工学科 特任助教

講演概要 AIが画像をつくる時代に、私たちは何ができるのか。本講演では、画像生成AIの“進化”の流れと、どんな場面で力を発揮できるのかという“真価”を、自身の体験をもとに仕事やアイデアに活かすヒントをお届けします。

（講演2）『AIと共に生きる ～人間と人工知能の相乗効果を引き出すために～』

講師： 深澤 佑介 上智大学大学院 応用データサイエンス学位プログラム 准教授

講演概要 AIの急速な発展により社会システムの在り方が大きく変わりつつあります。社会で人工知能が登場する場面が増えていく中、どのように人工知能を理解し、どのように付き合えば相乗効果を引き出せるかを考えます。

（講演3）『生成AIで変わるマーケティングにおける次世代型データ分析』

講師： 山下 遥 上智大学 理工学部 情報理工学科 准教授

講演概要 生成AIは現代社会で幅広く活用され、マーケティング分析にも積極的に導入されています。本講演では、生成AIを活用したマーケティングアナリティクスの事例を共有し、少量データから高精度な洞察を得る技術と、次世代のデータ分析のあり方を共に探ります。

（講演4）『ビジネスでおさえるべきAIの国際動向』

講師： 矢入 郁子 上智大学 理工学部 情報理工学科 教授

講演概要 日本の産業界では、これまで強いAI導入への抵抗感がありました。本講演では、AIの定義の難しさ、EUの規制、ITUの通信規格の世界標準に基づく社会応用の加速について解説します。技術的課題に加え、社会的受容性向上の議論を通し、AIの健全な進化と社会貢献の可能性を探ります。

（講演5）『ICTが変える企業戦略：言語の多様化に対応した価値創造』

講師： 高岡 詠子 上智大学 理工学部 情報理工学科 教授

講演概要 本講演では、書籍の多言語化や図中語の判別、介護現場での会話支援Webサイトの構築、難解な日本語のやさしい日本語化、沖縄方言と標準語の機械翻訳など、言葉の壁による社会的障壁の解消を目指す研究事例を紹介します。

◆ 交流会 参加者全員による立食形式の懇親会

日時： 2025年9月8日（月） 13:00～17:50

会場： 対面式 上智大学 四谷キャンパス 6号館405教室
および Zoom ウェビナーによるリアルタイム配信

定員： 対面式は先着50名

参加費： 無料

主催： 上智大学／りそな中小企業振興財団